

事業所 かやま保育園

公表日 令和8年2月2日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、 課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	7		・昨年度いただいたご意見を反映し、その日の利用児の人数や遊びによって部屋の使い方や遊び方を工夫している。	
	2 利用定員やこどもの状態に対して、職員の配置数は適切であるか。	7			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障がいの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7		・支度の部屋、朝の会の部屋は決まっているため、どの部屋で何をするとよいか分かりやすくなっている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		・療育終了後、毎日清掃・消毒を行っている。 ・遊具はその日の利用人数、お子さんの様子に合わせた設定にしている。 ・日々サービス提供後すぐに職員全員で清掃を行っている。 ・当日の利用するメンバーに合わせて、出す遊具の配置などを考えている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	・個別に配慮できるスペースやパーティションがありません。	・専用部屋の確保はできないが、その日に空いているスペースを利用する。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1	・毎日カンファレンスを行い振り返り、反省点や課題は次に活かすようにしている。毎月の職員会議には全職員が参加し計画を立てたり振り返りを行っている。 ・施設長と相談をしたり、日々のカンファレンス、会議の中で職員で声を掛けあったりして、効率的に行うにはどうするか、役割分担の見直しを行った。 ・各業務を職員で分担していて、担当職員が一人で担っている部分があった（行事の担当など）	・皆で協力したものの、活動によっては、主となって企画する職員に負担がかかってしまった。今年度の反省を次年度に活かすことで対応する。
	7 保護者等向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	・園外保育（療育）、座談会、講座について事後アンケートをとり、いただいた意見を次に活かしている。 ・事業所評価、行事、保護者講座アンケート実施。 ・12月時点では、まだ保護者向けの評価表を基に話し合いを行っていない。	・アンケート依頼のタイミングでは話し合いは行っていない。転入職員には、期首に前年度事業評価を伝えることで対応する。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	4	・この事業所に来て、まだ監査を経験できていない。 ・第三者による外部評価は行っていない。	・現段階では行っていないが、今後検討していく。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	・外部講師をお招きしての療育後、職員対象に学ぶ時間を設け、専門的な知識やこどもたちへの具体的な支援方法について学ばせてもらっている。 ・様々な外部研修に参加し、専門知識を学んでいる。 ・外部講師、保護者講座（支援ファイルについて）様々な研修会に参加している。こころん、東特支との交換実習や意見交換など ・オンライン研修が入ってくると職員がそれぞれ時間を見つけて受講できている。 ・学びたいことを職員間で発信し合い、研修するのもいいのではないかと思います。	・年間予定があり、それに沿って研修を行ってきたが、次年度はもう一步踏み込んで、保育士発信の研修も取り入れていく。スーパーバイザーであるこころんとも連携をとり研修していく。

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	7		・お子さんの姿や保護者とのやりとりをカンファレンスで共有し、複数の人から見たお子さんの姿を反映できるようにしている。
	13	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもに関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・毎月支援会議を開き全職員で分析し計画作成に反映している。 ・毎月支援会議を実施している。
	14	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		・支援会議で実際に支援する際のポイントを職員間で共有している。
適切な支援の提供	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		・療育記録を記入し、確認できるようにしている。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		・事前に打合わせ、共有を行っている。 ・年長療育では保育士で話し合いを重ねながら活動のプログラムを計画している。 ・火曜の小集団療育はねらいにそって計画し、職員間での十分な話し合いのもと行われています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・“今月の遊び”は月1回内容を変えて一人ひとりの目標を考え支援方法を工夫している。 ・所長、児発管から助言をもらいながら、遊びの計画を検討している。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		・前日に翌日の支援の打ち合わせを行い、当日朝、最終確認をしている。 ・前日のミーティングで動きを確認し、変更・補足については当日の朝のミーティングで共有している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		・日々振り返りカンファレンスを実施している。 ・療育終了後、毎日行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・一人ひとりの個別療育記録を作成している。 ・支援の記録を振り返りながら、次回の支援の計画を立てたり、役立てている。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		・担当職員が同席し、日ごろの事業所での様子を伝えている。

関係機関や保護者との連携	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて訪問したり、訪問の受け入れを行っている。 ・在籍園への園訪問 ・小学校との情報共有 ・施設見学など（はまぐみ、他事業所） ・園訪問に行って在籍園での様子を共有したりばんだ組での様子・支援を伝えている。 	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・在籍園訪問や在籍園担任のばんだ組訪問受け入れを行うことでお子さんについての情報共有や相互理解を図っている。 又、保護者からばんだ組での様子を在籍園担任に伝えてもらうなど工夫を行っている。 ・一度の園訪問だけで、様子の共有が終わってしまっている場合もあった。 	・保護者に同意を得たうえで、必要であれば再度訪問させてもらい、支援内容等の情報共有と相互理解を図っていく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・入学前の情報共有、入学後の情報交換を行っている。 ・情報交換会でばんだ組の様子を伝えた。 	
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・研修としてクラスに入って様子を見させていただいた。 	・こちらから積極的に連絡を取り、助言をもらったり、研修させてもらう。
関係機関や保護者との連携	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は全てのお子さんが幼保こども園に通っており地域の中で他のこどもと活動を共にしている。 ・今年度は交流児なし。（全員在籍園が有るため） 	・お子さんの状況に応じて、かやま保育園との交流を持つ。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳の活用や、年長小集団療育では写真入りドキュメンテーションを作成している。 	
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレントトレーニングの研修の機会が今後あると良いと思う。 ・凸凹カフェの方との座談会 ・外部講師を招き、子育てやお子さんの支援について相談できる場面が設定されている。 ・保護者参加の研修、情報提供は行っています。 	・ペアレントトレーニング実施に向け検討していく。
保	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・運営規定については施設長に任せてしまっている部分があった。 	・利用者への説明は施設長が担うが、内容については、今後も職員全体で共有する。
	33	個別支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・支援会議でも全体で話し合っている。 ・質問用紙を使ったアンケートや話し合いを行い、保護者のその時の思いを確認している。 	
	34	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・支援会議の際に決定し、個別支援計画説明の際に保護者に了解を得て記載している。 	
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・日々の連絡帳のやり取りを通し、悩み事を聞いたり、相談に乗ったりしている。 ・親子療育のため、日々の会話の中から困り感や悩みを聞きとるように心がけている。 	

護 者 へ の 説 明 責 任 等	36	保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	<ul style="list-style-type: none"> ・きょうだい同士での交流はファミリー参加ウイークで来られた方もいた。 ・ファミリー参加週間があったが、思ったよりごきょうだいの参加は少なかった。 ・保護者会はありませんが、「ママタイム」で保護者同士話せる場を設けています。きょうだい同士の交流の場はないように思います。(8月のファミリーウイークはありますが、きょうだい同士が交流するというなにか具体的なものはなかったように思います) 	<ul style="list-style-type: none"> ・8月のファミリー参加ウイークで、小学生のきょうだいの参加はあったが、きょうだい同士で交流する活動は計画していません。今後検討していきたい。
	37	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	<ul style="list-style-type: none"> 1 毎月ばんだだよりを発行、歩みのだより ・コドモンの導入 ・SNSは活用していない 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援プログラムと事業所評価をホームページで公表している。
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の連絡帳は目隠しなどをして管理している。 	
	40	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		<ul style="list-style-type: none"> 4 地域の方が参加する場面はなかったと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・検討していく。
非 常 時 等 の 対 応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月かやま保育園と連携をして様々な災害を想定しての避難訓練や不審者対応防犯訓練を行っている。 	
	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に研修、見直しを行っている。 	
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	<ul style="list-style-type: none"> 1 	<ul style="list-style-type: none"> ・予防接種歴については確認していない。在籍園を持たないお子さんが利用する場合には確認が必要。
	45	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟市のマニュアルに沿って実施。 	
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		
	47	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	<ul style="list-style-type: none"> 1 自分自身、安全計画に基づく取組内容があいまいで把握できていないように感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全計画を見やすい場所に掲示することで、確認しやすくする。
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	<ul style="list-style-type: none"> ・検討会実施 	
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止のための外部研修に参加し、参加職員が全職員に伝達研修を行い周知している。 ・研修実施、外部研修への参加。 	
50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	<ul style="list-style-type: none"> ・支援会議の際に決定し、個別支援計画説明の際に保護者に了解を得て記載している。 		